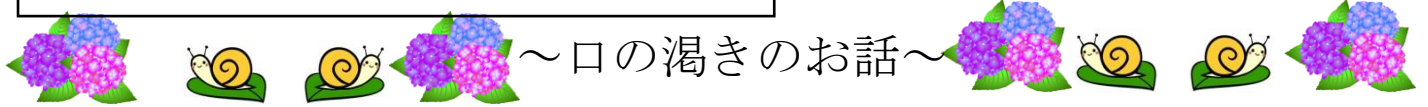


# 訪問歯科新聞 6月号



## ～口の渇きのお話～

1928年から日本歯科医師会が「6（む）4（し）」に因んで6月4日に虫歯予防デーを実施し、現在では毎年6月4日から6月10日までの1週間は歯と口の健康週間とされています。虫歯は歯がある限りいくつになっても起こる疾患です。下記に当てはまるものがないか確認してみてください。

### 虫歯のチェック

冷たいものや熱いものがしみることがある  
入浴後や飲酒後に歯が痛くなることもある  
物を噛むと痛い  
歯の表面にざらざらした部分や白濁が見られる  
歯の表面に黒くなった部分がある  
口臭がある

### 虫歯のリスクが高い方

歯の間に物が詰まりやすい  
詰め物やかぶせ物が多い  
歯の定期検診を受けていない  
子供の頃から虫歯が多かった  
入れ歯を付けたままの歯磨き  
甘い飲み物の摂取  
夜に歯を磨かない  
間食が多い  
歯並びが乱れている  
歯磨きは1～2分以内  
歯並びが乱れている

### 《虫歯の進み方》

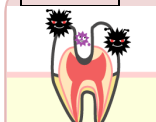
虫歯の症状は、進行度によって5つに分類されます。初期や中期では痛みを感じることがありませんので放置しがちですが、この時点で治療を行わないと激しい痛みを伴うだけでなく、治療に時間をや費用を費やすことになります。虫歯かなと感じたら、すぐに歯科医院を受診されることをおすすめします。

#### 初期



唾液の力で修復が行われ元の歯の状態に戻りますが毎日の食生活の乱れや、歯のケアを怠ると歯の修復が間に合わず、虫歯が悪化していきます。

#### 後期2



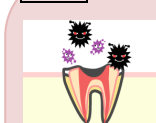
虫歯が神経に達しズキズキと神経の痛みが生じます。

#### 中期



歯の表面が虫歯で溶かされ、黒く穴が開いてきます。虫歯は表面に留まっているので痛みはありません。

#### 末期



歯の根だけを残し、上部は全て溶けてしまった状態です。神経は死んでいるため痛みはありませんが、根の先に膿がたまると痛みを感じる場合があります。虫歯菌が血管の中に入りやすい状態のため、他の病気の引き金になる可能性もあります。

#### 後期1



虫歯が神経に近づき、冷たいものや熱いものがしみる場合があります。

